



家族に熱・風邪症状がある場合



引き続き、自宅待機をお願いをしています。そのため、例えば、Home&Schoolにて「体調不良」と書かれて児童が欠席していて、別のきょうだいも登校している場合には、「体調不良」で休んだ児童に熱・風邪症状がないかどうか確認の連絡を差し上げています。「体調不良」だけでなく、「熱・風邪症状なし」等書き添えていただくと、確認のための電話連絡でご迷惑をおかけすることもありますので、きょうだいがいる児童の欠席理由については、「熱・風邪症状の有無」についても記載していただき、「有」の場合は、自宅待機に協力いただくようお願いいたします。

マスクの脱着について

学校だより3号にて、登下校や体育、休み時間の外遊びではマスクを外す指導をする旨お伝えしました。しかし、涼しい日が多かったこともありなかなか思い切ってマスクを外せる児童は少ない状況でした。これは、本校に限らず多くの学校でも同じ状況です。しかし、いよいよ気温・湿度共に上昇してきて熱中症のリスクの方が心配になってきました。学校では、20分休みに放送にて、屋外では積極的にマスクを外すよう呼び掛けているところです。屋外でのマスク着用を禁止することではないのですが、ご家庭でも積極的なマスク脱着について声掛けをお願いします。健康管理について、自分の判断で適切に対応できる力を育てていきたいと思っております。

自転車乗車時にはヘルメットの着用を

自転車乗車時の交通事故において一番多い原因は、児童の安全不確認です。交差点や、本線への合流地点で、左右確認や一時停止を怠り、自動車と接触するというケースが目立ちます。内部東小学校では、朝の会や学活の時間を使って正しい交通マナーについて担任が指導したり、交通安全教室を企画して外部講師の方に安全教育を行っていただいたりすることで、安全意識の向上を図っています。でも実は、同じぐらい多いのが「正しく走行して事故に遭う」ことです。過失がなくても事故に遭ってしまうわけですから、なかなか防ぐのは難しいということになります。でも、そんな場合でも、ヘルメットを着用することで損傷を最大限軽減することができます。自転車事故による死因の6割が頭部の損傷によるものであり、ヘルメットを着用することにより死亡リスクを4分の1に軽減できると言われています。大切な命を守るために、自転車に乗車する際には、お子さんにはヘルメットを着用させていただきをお願いします。



タブレットケースについて

現在、タブレットを使った宿題が出されたときには、タブレットケースに入れて家庭に持ち帰っています。ランドセルに入れることができれば、より便利になりますし、安全性も向上することです。このたび、ランドセルの中にしまえるクッションケースをPTA会費より購入していただきました。7月から、家庭へのタブレットの持ち帰りは、このクッションケースを使って行うこととなります。なお今後、壊れたり紛失したりした場合は、百円均一ショップにて購入することができますので、各ご家庭で同じようなものを用意いただくようお願いいたします。